千代田タクシー株式会社（静岡県静岡市）

国土交通省

受賞者の取り組み

◎ 昭和５１年に独自開発した車椅子専用の荷台を５台のタクシーに取付け、車椅子使用者のタクシー利用を積極的に行った。その際、社長の思いつきで終わらせたくないと、社員と何度も話し合い社内全体の取り組みにした。

◎ ユニバーサルデザインタクシーとしてメーカーで製造された車両がない中、一般のワンボックス車を独自に工夫し電動車椅子で利用できるユニバーサルデザインタクシー「ユニキャブ」　（特定大型）を平成１１年に首都圏以外で初めて２台導入した。さらに独自の改善を重ね、平成１４年に小型のユニキャブを１台導入した。平成２３年に初めてメーカーが開発販売したＵＤタクシーを全国のタクシー事業者に先駆けて導入したなど、ＵＤタクシーの導入において創意工夫して先駆的取組を行った。

◎ 静岡ＵＤタクシー研究会を発足させ、ＵＤタクシーの情報共有・改善のための意見交換を行い、ＵＤタクシードライバーの勉強会を開催するなど、ＵＤタクシーの普及に努めた。

◎ ＵＤタクシーに関する講演活動を通してユニバーサルデザインの普及を学校や静岡県などとともに行い、また、静岡県ユニバーサルツーリズム推進連絡会の中心的メンバーとして企画、実施、普及に努めるなど、ユニバーサルデザインの取組を地域に根ざして行った。

◎ 「静岡県福祉のまちづくり奨励賞」（1999年）

車椅子積載タクシー（昭和51年）

独自改造UDタクシー（外観）

独自改造UDタクシー（内観）

伊勢市（三重県伊勢市）

国土交通省

受賞者の取り組み

◎伊勢市交通バリアフリー基本構想を策定するにあたり、「当事者視点でのバリアフリー化の促進」を基本方針の一つにし、４回の協議会、現地調査、市独自調査、パブリックコメントを経るなど、高齢者・障がい者などのユーザーの意見を反映できるよう工夫し、面的・一体的なバリアフリー化をすすめている。

◎市民の高齢化や、高齢者や障がい者、外国人を含む観光ニーズに対応するため、伊勢市を中心に市全体が一体となって、ハード・ソフト両面の対策を実施し、「共生社会」「ユニバーサルツーリズム」に積極的に取り組みを行っている。

◎「伊勢市交通バリアフリー基本構想」・・・平成２８年７月、学識経験者、高齢者・障害者団体３、施設設置管理者７、商工・観光関係団体４、地元住民団体３、国、県、市、公安委員会からなる協議会を組織。現地調査などから課題を抽出し、協議・調整を重ね、高齢者・障がい者ユーザー意見を反映し整備目標を平成２９年２月に定めた。

バリアフリー基本構想（現地調査）

◎「子どもたちとつくる『やさしいまち伊勢市』支援事業」　・・・平成２２年度から事業委託した小中学校で高齢者疑似体験、福祉健康センター訪問、デイサービスの夏祭りに参加など各校が計画し実施。平成２６年度から「子ども未来会議」を開催し、伊勢市のまちづくりについて意見交換。平成２２年度から「やさしいまち伊勢市発見大賞」を募集、ユニバーサルデザインの部もあり、児童生徒の発表を市のＷｅｂサイトなどで紹介、市施策への反映や施設・設備の改善に至っている。

◎「障がい者サポーター制度」・・・平成２８年度に発足、市内在住、在勤者を対象にサポーター登録者がピンバッジを身につけ、気軽にサポートをお願いできるようにした。「障がい者サポート企業・団体」も認定している。

障がい者サポーター制度

◎「伊勢おもてなしヘルパー」・・・平成２８年４月に皇學館大学、伊勢おはらい町会議、（公社）伊勢市観光協会、伊勢商工会議所、ＮＯＰ法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター、伊勢市で伊勢おもてなしヘルパー推進会議を設立、平成29年2月より伊勢神宮内宮での移動サポートを行っている。広く募集したボランティアによる有償での活動とするなど持続可能な仕組みを構築。

◎「伊勢市バリアフリー観光向上事業」・・・バリアフリー観光施策の基礎となるバリアフリー観光調査の実施、宿泊施設のバリアフリー化支援、バリアフリー観光マップの作成、観光案内所での車いすの貸出し、ホームページでのバリアフリー観光情報の発信等

伊勢おもてなしヘルパー

◎その他・・・三重県内自治体で初めてヘルプマークの作成・配付

伊勢　日の出旅館（三重県伊勢市）

国土交通省

受賞者の取り組み

◎客室１５室、築６５年以上の木造建築、基本的に夕食の提供を行わない小規模な旅館で、平成２３年に自治体がバリアフリー観光向上事業の一環で改修する宿泊施設を募集した際に**率先して応募**。同館のバリアフリー化への改修の過程で、**既存の古い和風旅館にバリアフリー設備が歴史や風情を壊さず溶け込むよう独自に工夫**し、過ごしやすい空間を作った。

◎ユニバーサルツーリズムに積極的に応対して飛躍的に業績を向上させ、その後も改修を重ね、**高いホスピタリティによるもてなしの提供**とあいまって、高齢者、障害者のほか、女性、若年層、外国人など、さまざまな層に人気の高い旅館となり、**ユニバーサルツーリズムの事業としての可能性**を示した。

◎同館が率先して取り組んだことにより周辺の宿泊施設にも取り組みが波及したり、近隣の飲食店と連携しオリジナルのお食事処マップを作成して**宿泊と地域の食との連携**に取り組んだ。

ユニバーサルデザインルーム

玄関ホール

館内のトイレ

ボランタリーハウス庵（岐阜県各務原市）

国土交通省

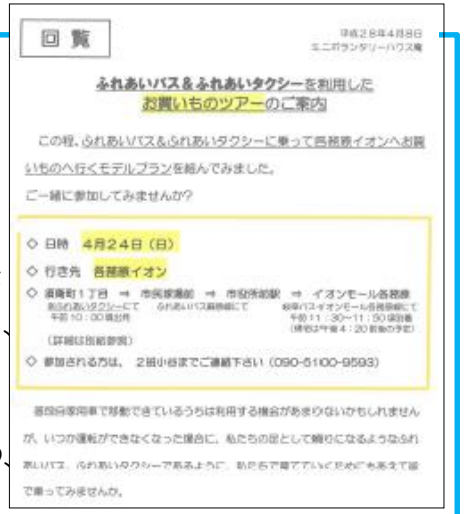
受賞者の取り組み

（活動のきっかけ）

各務原市は平成２７年度に市内公共交通である、コミュニティーバスや乗合タクシー（ふれあいバス＆タクシー）を再編し、**地域住民による自主的な利用促進活動の後押し**を行っている。

地域のボランタリーハウスとして活動していたところ、各務原市北部の須衛町（川崎団地）では市内公共交通再編により「ふれあいバス」に代わって「ふれあいタクシー」が運行することとなったことを契機に、地域に根ざした高齢者等の「お出かけ」に関する活動を開始。

◎ 行き先に商業施設や病院を含む**「ふれあいバス＆ふれあいタクシーを利用したお買い物ツアー」**の開催や、ボランタリーハウスで「朝市＆家庭菜園の会」「認知症予防ゲーム」と「ふれあいバス・ふれあいタクシーの勉強会」を合わせて行うなど、**高齢者が要介護の状態となることを予防し、住民自ら公共交通をまもり育てる観点**で活動を行っている。


回覧

ふれあいバス＆ふれあいタクシーを利用した
お買いものツアーのご案内

この程、ふれあいバス＆ふれあいタクシーに乗って各務原イオンへお買いものへ行くモデルプランを組んでみました。
ご一緒に参加してみませんか？

◇ 日時　4月24日（日）
◇ 行き先　各務原イオン
◇ 須衛町１丁目 → 市民球場前 → 市役所前駅 → イオンモール各務原
（詳細は指導部員）
◇ 参加される方は、２班小谷までご連絡下さい（090-5100-9593）

お買い物ツアー

◎ ボランタリーハウス開催・・・地域のボランタリーハウスとして毎月１回程度開催する地域の集いで、地域の方が育てた野菜を販売する「朝市＆家庭菜園の会」や「認知症予防ゲーム」などと合わせて市の交通担当者を招いて**「ふれあいバス＆タクシー勉強会」**を行う。

ふれあいタクシー

◎ お買い物ツアーの開催・・・市内の商業施設や医療機関等へ「ふれあいバス」とも乗り継ぎながらおでかけのエスコートをする買い物ツアーを平成２７年から年１、２回開催。開催後には備忘録や感想を市へ共有するなど、**フィードバックも実施しつつ、地域公共交通の活性化**に取り組んでいる。

◎ ふれあいバス、ふれあいタクシーを利用するための**分かりやすい案内の作成・配付**・・・お買い物ツアーの開催案内に合わせて、地域に回覧、全戸配付にて、地域内のふれあいタクシー停留所から主要な目的地への乗り継ぎ案内、オリジナル時刻表の作成、周知を行っている。

ふれあいバス&タクシーおでかけモデルコース
市役所前駅→イオン各務原(平日・土・日・祝)プラン
料金　65歳以上・小人　往復600円（一般900円）

行き
ふれあいタクシー予約締切 8:45迄に電話 電話0800-200-3333（フリーダイヤル）
ふれあいタクシー停留所 須衛町１丁目 10:00～10:05頃発
ふれあいバス停留所 市民球場前 10:10頃着→10:20発
ふれあいバス停留所 市役所前駅 11:05着 11:15発又は11:35発
岐阜バス イオンモール停留所 イオンモール各務原 11:30頃着又は11:50頃着

帰り
ふれあいタクシー停留所 須衛町１丁目 16:20～16:25頃着
ふれあいバス停留所 市民球場前 16:05着→16:15頃発
ふれあいバス停留所 市役所前駅 15:05頃着→15:20発
岐阜バス イオンモール各務原 イオンモール各務原 14:50発
ふれあいタクシー予約締切 15:15迄に電話 電話0800-200-3333（フリーダイヤル）

ふれあいタクシーの利用プラン

矢作建設工業株式会社　鉄道技術研修センター（愛知県名古屋市）

国土交通省

受賞者の取り組み

◎ 建設事業の技術者向けの実地訓練、研修、および施工技術の開発を行う研修センターで、実物と同じ線路や踏切・跨線橋、点字ブロックなどの設備を忠実に再現した駅ホームを使い、**視覚障害者向けに鉄道施設体験会を開催**。

◎ 鉄道施設の構造を把握することが難しい視覚障害者にとって、**実際の駅では困難な体験**をとおして、ホーム転落事故等の防止など**視覚障害者の安全に寄与**している。

◎ 鉄軌道事業者の駅係員向けに盲導犬や視覚障害について正しく理解し、より安全・安心して駅を利用できるように、適切な誘導案内など、接遇向上を目的に**研修会を事業者団体、盲導犬協会、行政と協力して開催**し、視覚障害者の安全に寄与している。

◎視覚障害者向け鉄道施設体験会

- **ボランティア団体等と協力して開催**。視覚障害者やガイドヘルパー等の参加者が線路上に立ちホームの高さ、退避スペースの位置や大きさ、レールや枕木の位置や間隔、砕石の上の歩きにくさ、遮断機の形状や警報音、停車車両とホームとの隙間の広さなどを体感。
- 技術者らの説明を受けながら実際に触れることにで、駅ホーム上における危険性や安全策、線路に誤って落ちたときの対処法などを確認。
- 平成２６年から毎年数回開催、計９回、３３７名が参加

鉄道施設体験会（踏切を実感）

◎ 駅ホームにおける安全性向上のための研修会

- **中部鉄道協会や社会福祉法人中部盲導犬協会、行政と協力**して駅係員を対象に開催。
- 盲導犬協会による事故・ヒヤリハット調査についての講演や、盲導犬ユーザーによる適切な応対やヒヤリハットなどの体験談、実技、質疑・応答をとおして、声かけや誘導のポイントや、生の声を聞く機会となった。
- 平成２９年度、駅係員を中心に５０名が参加。

鉄道施設体験会（駅ホームの構造を実感）